

設備工事科

空調，給排水設備の施工方法や維持管理について学びます。

訓練期間

1年

定員

20人

就職情報

就職率 100%

(令和3年度修了生)

【主な就職先】

給排水衛生設備工事業，ガス設備工事業 ほか

訓練概要

一般住宅及び中高層建築物の配管図の理解ができるとともに，給排水・ガス設備・暖冷房設備等の施工ができ，修了時には各種資格が取得できる知識と技能を修得します。



溶接ろう付け基本実習
(アーク溶接)



設備製図
(材料拾い)



液化石油ガス設備実技講習
(設備の検査)



配管施工実習
(模擬家屋設備実習)



ココがすごい!

令和3年度 技能五輪全国大会 配管職種入賞



23歳以下の青年技能者が技を競う技能五輪全国大会。設備工事科の修了生(令和2年度修了)が敢闘賞を受賞しました。「ミリ単位の精度」の技術を磨くことができます。日本一を目指す本気の挑戦に全力でサポートします。

取得または
目標とする
資格

- 技能検定「建築配管作業」2級の学科免除(技能照査に合格した場合)，実技免除(技能五輪宮城県大会で技能証を取得した場合)
- 技能検定「冷凍空調和機器施工」3級
- 液化石油ガス設備士
- 第一類消防設備士
- ガス溶接技能講習修了証
- アーク溶接特別教育修了証

指導員から

水道やガスなど日常生活に欠かすことのできない建築設備業界について，実践的な技能を習得することが出来ます。人々の生活の基盤となるライフラインを安全に提供する仕事として，とてもやりがいがあります。

在校生の声

空調設備や給排水衛生設備などの生活に携わる仕事に就きたいと設備工事科に入学しました。決して無くない仕事であり，地震が多い日本では，ライフラインを守り，維持していくために大切な仕事だと思っています。社会に貢献できる人材になれるよう努力しております。

必要経費

教科書	約 21,000 円
作業服・靴	約 24,000 円
資格受験(必須)	約 10,000 円